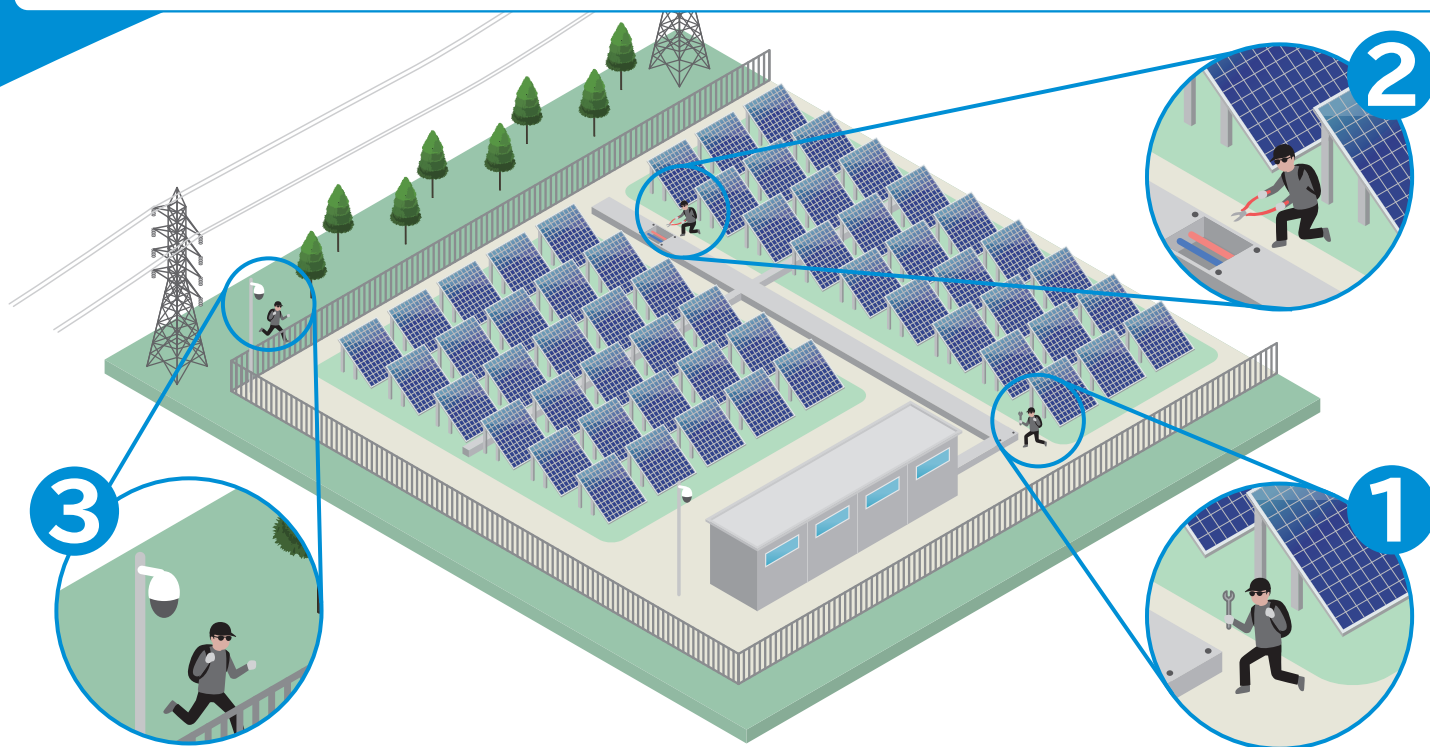


太陽光設備 ケーブル盗難防止ソリューション

～物理的対策とICT技術による相乗効果～

銅のリサイクル価格の高騰により、太陽光設備をターゲットとしたケーブル盗難が増加しております。物理的に盗みづらい状況を作り出し、ICT技術を活用してケーブル盗難を抑止・検知・証拠保存することで、盗難リスクを低減し、安全性を高めます。



① 特殊部品で強固なつくり

物理的対策

簡単に取り外せない特殊部品をケーブルラック、設備BOXの施工に用いることで盗難を抑止。

ユニファース *iGuard*

【一般工具では】



上方向にすべりつかめない



ゆるめる方向にすべりつかめない

【専用工具では】



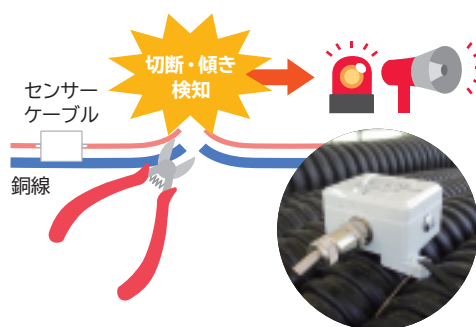
十分なトルクで締め付けが可能です。



② センサーケーブルで切断検知

ICT技術

太陽光幹線ケーブルと一緒にセンサーケーブル、傾き検知ユニットを敷設することで、ケーブル切断や傾きを検知。パトランプ点灯やスピーカーからの音声で犯人を威嚇。



③ 防犯カメラで遠隔監視

ICT技術

防犯カメラで犯罪を抑止・証拠保存、遠隔から発電所の状況（不審者、パネル・雑草状況）を確認可能。



導入先事例

☑ 某太陽光発電所（埼玉県・石川県）：①③

☑ 小野寺太陽光発電所：②③

☑ 富士宮太陽光発電所：②③

